

事業名	生涯・地域スポーツ推進事業費			調書番号	121
細事業名	いきいき山梨ねんりんピック実行委員会事業費補助金	財務コード	163701		
担当部課室	教育委員会	部	スポーツ健康課	生涯スポーツ	担当 (内線) 8413

## I 事業の概要

実施期間	始期	H5	年度	～	終期	年度
実施主体	補助(いきいき山梨ねんりんピック実行委員会)					
目的	だれ(何)を対象に		その対象をどのような状態にして			結果、何に結びつけるのか
	県民		交流を深めながら、気軽に、スポーツ・レクリエーション活動に参加できている。			参加者同士の交流を深め、生涯スポーツの振興及び心身の健康の保持増進
内容	<p>○事業概要</p> <p>「スポーツ県やまなし」宣言記念事業として、県民が、健康でいきいきとした生活が送れるよう、高齢者をはじめとした県民が交流を深めながら、気軽に参加し、スポーツ・レクリエーション等を楽しむことができるよう、いきいき山梨ねんりんピックを開催している。</p> <p>この事業の中で、特に高齢者が競技スポーツ以外で参加できる唯一のスポーツ大会である「高齢者総合スポーツ大会」への補助金を交付し、大会を円滑に実施するため、関係機関、団体と密接な連携を図りながら事業を行う。</p>					

## II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
活動指標	実施種目数	目標	11	11	11	11	11	11
		実績(見込)	11	11	11	11	11	11
		達成率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
		達成区分	b	b	b	b	b	b
成果指標	参加人数	目標	1,756	1,756	1,756	1,756	1,756	1,756
		実績(見込)	1,756	1,736	1,474	1,462	1,516	1,548
		達成率	100.0	98.9	83.9	83.3	86.3	88.2
		達成区分	b	b	b	b	b	b
決算(予算)単位:千円		810	730	730	700	700	500	500

## III 事業の評価(平成29年度の業績評価)

活動指標	b	評価	各地域の諸行事との重なりから過去5年間の最高参加率に達することはできなかったが、目標1,756人のところ1,516人の参加(86.3%)であり、参加者数を維持しているなかで概ね成果を上げている。
成果指標	b		

## IV 見直しの必要性(平成31年度に向けた改善等の考え方)

県関与の必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い	<input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる	<input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( )		
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能	<input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
見直しの余地	説明	スポーツ基本法第24条により地方公共団体は、スポーツ・レクリエーション活動の普及奨励に努めなければならない。また、スポーツ健康課で策定した「やまなしスポーツ推進プログラム」の政策目標であるライフステージに応じたスポーツ活動の推進のため、当該大会に助成している。		
	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある	<input type="checkbox"/> 見直す余地がない
その他	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input type="checkbox"/> その他 ( )		
	説明	<input type="checkbox"/> その他 ( )		
見直しの必要性	有	高齢者にとって参加しやすい種目を増やすことや、他のイベントとの実施日の調整を図ることで、参加者を増やしていく必要がある。		

## V 見直しの方向(平成31年度当初予算等での対応状況)

実施方法等の変更	説明	参加者を増やすために種目の検討や実施日の調整を実行委員会と連携を図り行っていく。
----------	----	------------------------------------------

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、IV見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。